NEWS
RELEASE

2011 年 11 月 16 日
株式会社クオリティ・オブ・ライフ

大学生の留学と就活に関するアンケート調査

・長期留学のほうがグローバル企業への志望度高
・就活が不安で長期留学から短期留学に変更も
・留学中にもっとも使ったSNSはFacebook

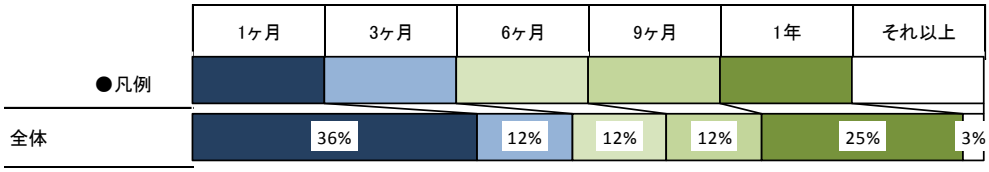
株式会社クオリティ・オブ・ライフ（東京都千代田区　代表取締役　原正紀）は、留学経験のある大学生向けに、留学と就活に関するアンケート調査を実施いたしました。

■調査概要

【調査名】　大学生の留学と就活に関するアンケート調査
【調査期間】　2011 年 6 月 3 日～7 月 3 日
【調査対象】　留学経験がある 2011 年度に就活をした大学生（2010 年度 5 名を含む）
（就活生を応援するノウハウサイト『就活の栞（しおり）※』の登録者など）
【有効回答】　75 名

【回答者留学期間内訳】　［2011 年 11 月 17 日加筆いたしました］
本調査では、『短期留学』は留学期間が「1 ヶ月」「3 ヶ月」、『長期留学』は「6 ヶ月」「9 ヶ月」「1 年」「それ以上」で集計。『短期留学』者は 48%（36 名）、『長期留学』者は 52%（39 名）

●留学の期間（全体／単一回答）



※『就活の栞（しおり）』とは
就活生を応援するノウハウサイトとして 2010 年オープンいたしました。
http://s-shiori.com/
多くの就活サイトが混在するなか、本当に役立つ情報を、意識の高い就活生に届けるために立ち上げたサイトです。
就活を行うなかで知りたい情報、使える情報の提供はもちろん、落ち込んだときに読みたい応援コラム、リアルな場で他の就活生と交流できるイベント開催など行ってまいりました。

■調査結果概要

●留学概要について

【留学の種類】

・「私費留学」が 4 割でもっとも高い。大学経由の留学（「交換留学」「認定留学」「派遣留学」の合計）も同様に 4 割を占める。

【留学先】

・「アメリカ」がもっとも高い。留学先の 4 位までが英語圏で 6 割以上を占める。

【留学した学年】

・「大学 2 年」「大学 3 年」がそれぞれ 4 割で、全体の 8 割を占める。

●留学前について

【留学を意識した時期】

・「大学入学後」が 6 割。「高校生」が 3 割。

【留学を決めたきっかけ】

・『語学力向上』『英語が好き』など「英語を勉強したかった」理由が 4 割。「親や教授からの勧め」「友人や先輩が行っていたから」など周囲からの勧め・影響は 2 割を超える。

・『視野を広げたい』『慣れた環境に甘えている』など「挑戦したかった」学生は 2 割弱。

●留学中について

【留学中に使っていたネット上のツール】

・留学中にもっとも使っていたネット上のツールは「Facebook」。短期留学、長期留学ともに同じ傾向。

●就活について

【留学をする時期を決める際】

・留学をする時期を決める際に、就活の時期を意識した人は約 6 割。

・不安な点としては、「インターンに参加できない」「休学のギャップがうめられるか」「就活が遅れる」「帰国時期には他の人が就活を終えている」「秋採用や夏選考だけで大丈夫か」など。「就活が不安のため長期留学を断念し、短期留学に変更」した人も。

【留学中の不安】

・短期留学の場合は、「特にない」割合がもっとも高く 8 割を超える。

・長期留学の場合は、「就活の仕方がわからない」「就活のスタートが遅れる」と就活準備への不安が 4 割弱でもっとも高い。一方で、不安が「特にない」人も 3 割弱。

【留学中の就活】

・短期留学の場合は、「特に行っていない」が 8 割を超える。

・長期留学の場合も、「特に行っていない」が半数を超え、就活への不安はあるものの、実際留学中に就活を行う割合は少ない。行っていることのなかでは「日本の就活情報の収集」がもっとも高く 2 割を超える。

【グローバル企業への志望】

・長期留学のほうがグローバル企業への志望度が高い。

【留学が就職活動に有利に感じた点】

・短期留学、長期留学ともに「自己ＰＲができた」「面接官が興味をもってくれた」が高い。

・長期留学の場合、上記に加え、「自信をもって就活ができた」割合も高く、短期留学に比べ 2 倍以上。

【就職活動で大変だった点】

・短期留学の場合は、「特になかった」がもっとも高く 4 割を超える。

・長期留学の場合は、「自己ＰＲの作成」「企業の見方・選び方」をはじめ、全般的に就職活動で大変だった割合が高い。一方、「特になかった」割合も少ないながらみられる。

【留学経験で得たこと】

・留学を決めたきっかけでは「英語力の向上」がもっともあげられていたが、留学経験で得られたこととしては、語学力だけでなく、グローバルな視点、文化理解、また、行動力、コミュニケーション力、精神力の向上など様々な点があげられている。

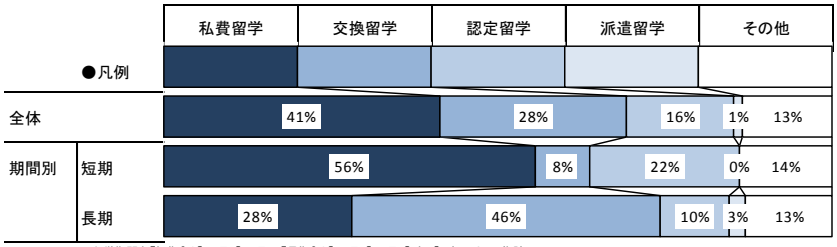
※『短期留学』は留学期間が「1 ヶ月」「3 ヶ月」の合計、『長期留学』は「6 ヶ月」「9 ヶ月」「1 年」「それ以上」の合計

■調査結果詳細

●留学概要について

留学の種類

●留学の種類（全体／単一回答）

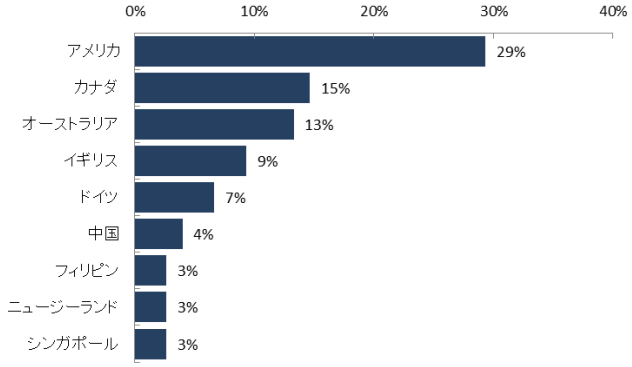


※留学期間を『短期』は「1ヶ月」「3ヶ月」、『長期』は「6ヶ月」「9ヶ月」「1年」「それ以上」で集計

・「私費留学」が約4割ともっとも高い。
・次いで、「交換留学」（28%）、「認定留学」（16%）、「派遣留学」（1%）と続き、大学経由の留学も4割を占める。
・短期留学では「私費留学」が、長期留学では「交換留学」の割合が全体より高い。長期留学で、大学の留学制度を利用しない場合（「私費留学」）が3割弱。

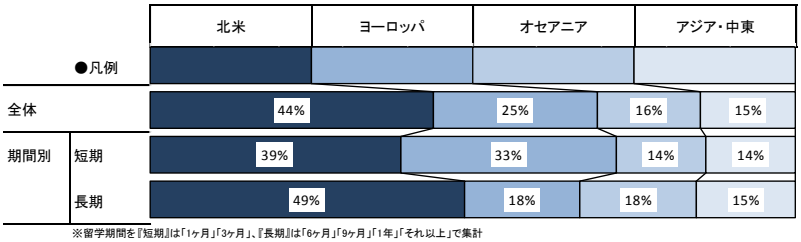
留学先

●留学先（全体／自由回答）



・「アメリカ」がもっとも高く約3割を占める。
・次いで、「カナダ」（15%）、「オーストラリア」（13%）、「イギリス」（9%）と続く。英語圏の国々が上位を占め、「アメリカ」から「イギリス」までで6割を超える。
・エリア別では「北米」がもっとも高く、「ヨーロッパ」「オセアニア」が続く。
・短期留学では「ヨーロッパ」の割合が、長期留学では「北米」の割合が全体より高い。

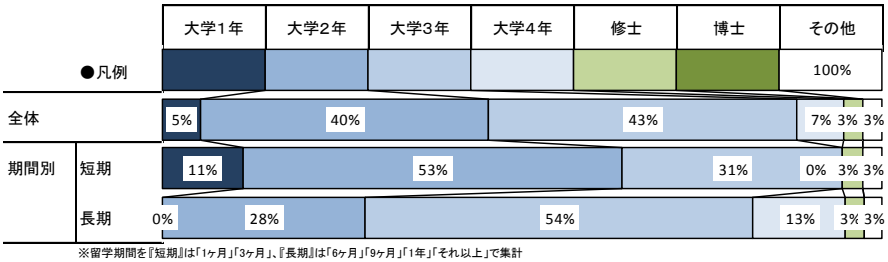
●留学先（全体／自由回答をエリア別に集計）



※留学期間を『短期』は「1ヶ月」「3ヶ月」、『長期』は「6ヶ月」「9ヶ月」「1年」「それ以上」で集計

留学した学年

●留学した学年（全体／単一回答）



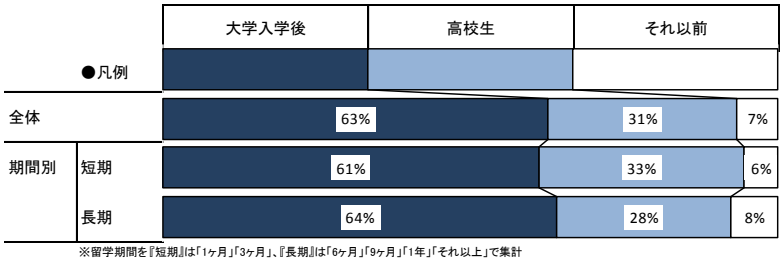
※留学期間を『短期』は「1ヶ月」「3ヶ月」、『長期』は「6ヶ月」「9ヶ月」「1年」「それ以上」で集計

・「大学2年」と「大学3年」がそれぞれ4割と、8割以上の学生が「大学2年」か「大学3年」で留学。
・短期留学、長期留学ともに同様の傾向がみられるが、短期留学は「大学2年」が、長期留学は「大学3年」の割合が全体と比べ10ポイント以上高い。

●留学前について

留学を意識した時期

●留学を意識した時期（全体／自由回答）

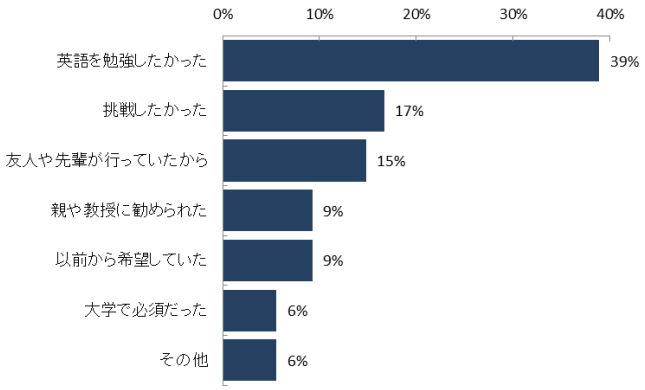


※留学期間を『短期』は「1ヶ月」「3ヶ月」、『長期』は「6ヶ月」「9ヶ月」「1年」「それ以上」で集計

・「大学入学後」に留学を意識した学生が6割を超える。
・次いで、「高校生」が3割と続き、「それ以前」は1割未満。
・短期留学、長期留学ともに同じ傾向。

留学を決めたきっかけ

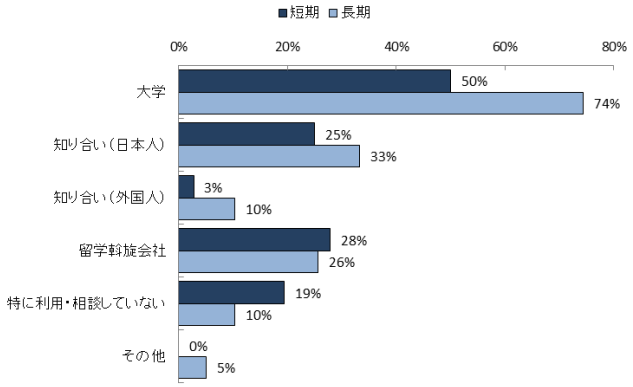
●留学を決めたきっかけ（全体／自由回答を集計）



・『語学力向上』『英語が好き』など「英語を勉強したかった」理由がもっとも高く4割を占める。
・ 周囲からの勧めや影響（「友人や先輩が行っていたから」「親や教授に勧められた」の合計）は2割を超える。
・2割弱ながら、『視野を広げたい』『慣れた環境に甘えている』など「挑戦したかった」学生もみられる。

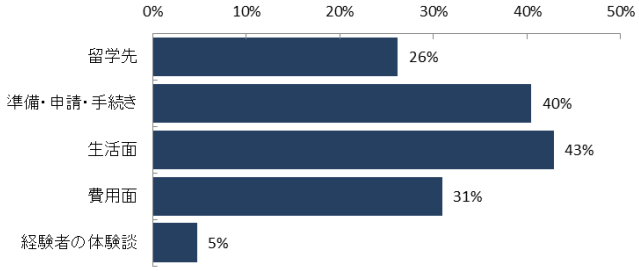
手続きや相談等で利用した機関・人

●手続きや相談等で利用した機関・人（全体／複数回答）



・短期留学、長期留学ともに「大学」がもっとも高いものの、長期留学のほうが20ポイント以上高い。短期留学は「私費留学」が、長期留学は「交換留学」の割合が高いため、大学の利用・相談の割合に差がみられたと考えられる。
・留学斡旋会社は短期留学、長期留学ともに3割弱。
・短期留学の場合、「特に利用・相談していない」学生が約2割。

●相談した内容（相談した人／自由回答を集計）

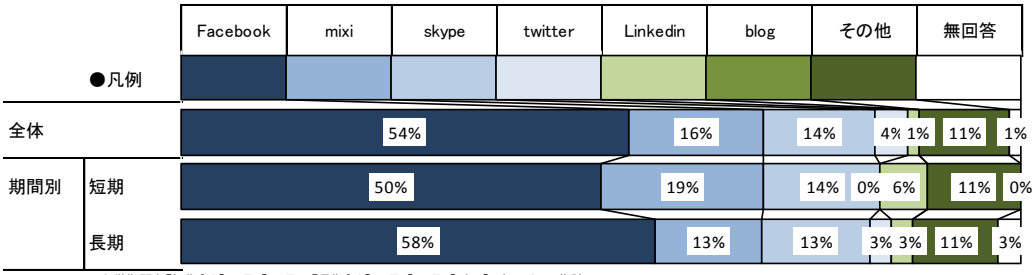


・『住居』『ホームステイ』『安全面』などの留学先での「生活面」に関して、また、『ビザの申請』『書類の申請』『航空券手配』など「準備・申請・手続き」といった事前準備への相談がもっとも高く4割を超える。
・留学にかかる「費用面」「留学先」への相談もみられる。

●留学中について

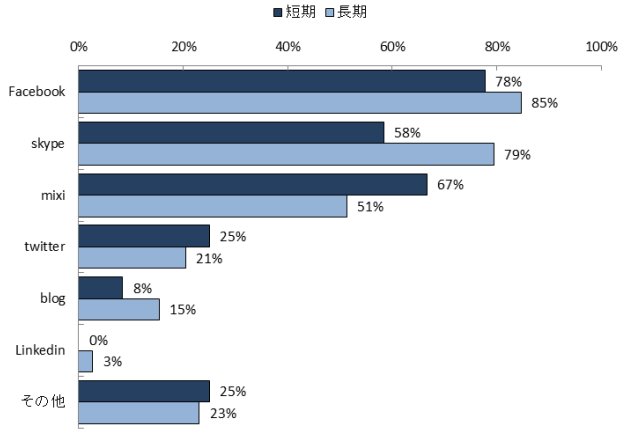
留学中に使っていたネット上のツール

●留学中にもっとも使っていたネット上のツール（全体／単一回答）



※留学期間を『短期』は「1ヶ月」「3ヶ月」、『長期』は「6ヶ月」「9ヶ月」「1年」「それ以上」で集計

●留学中に使っていたネット上のツール【第1位～第3位の総計】（全体／単一回答）

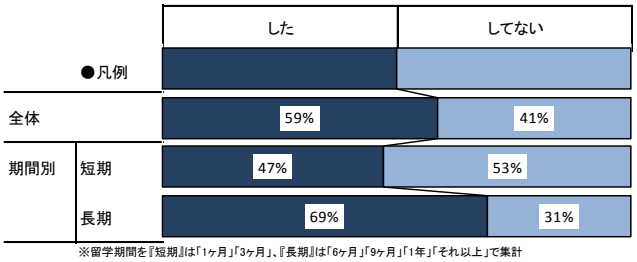


・留学中にもっとも使っていたツールは、短期留学、長期留学ともに「Facebook」が5割を超える。
・第1位から第3位の総計でも、短期留学、長期留学ともに「Facebook」がもっとも高い割合となっている。次いで高い割合が、短期留学は「mixi」、長期留学は「skype」と異なる傾向。

●就活について

留学をする時期を決める際に、就活の時期を意識

●留学をする時期を決める際に、就活の時期を意識 （全体／単一回答）



※留学期間を『短期』は「1ヶ月」「3ヶ月」、『長期』は「6ヶ月」「9ヶ月」「1年」「それ以上」で集計

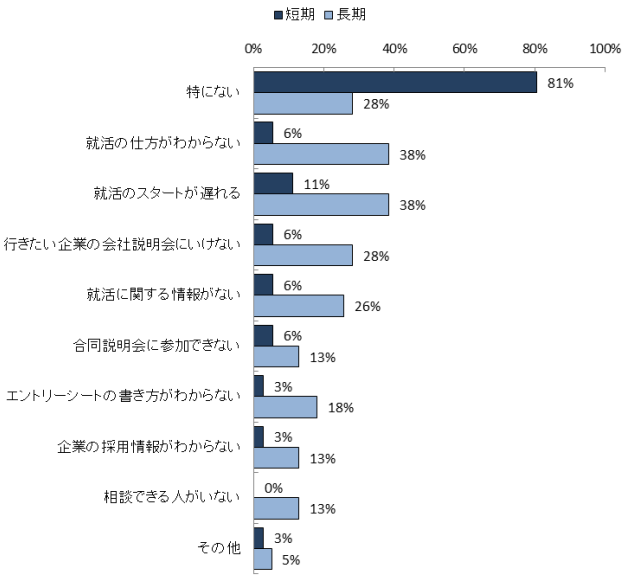
・留学をする時期を決める際に、就活の時期を意識「した」人は約6割。
・長期留学の場合、意識「した」割合が全体と比べ高いものの（7割）、3割は「意識していない」。

●留学する際に、就活について悩んだり、不安に思ったこと （自由回答より）

・「特にない」がもっとも多い。
・不安な点としては「インターンに参加できない」「休学のギャップがうめられるか」「就活が遅れる」「帰国時期には他の人が就活を終えている」「秋採用や夏選考だけで大丈夫か」など。「就活が不安のため長期留学を断念し、短期留学に変更」した人も複数みられる。

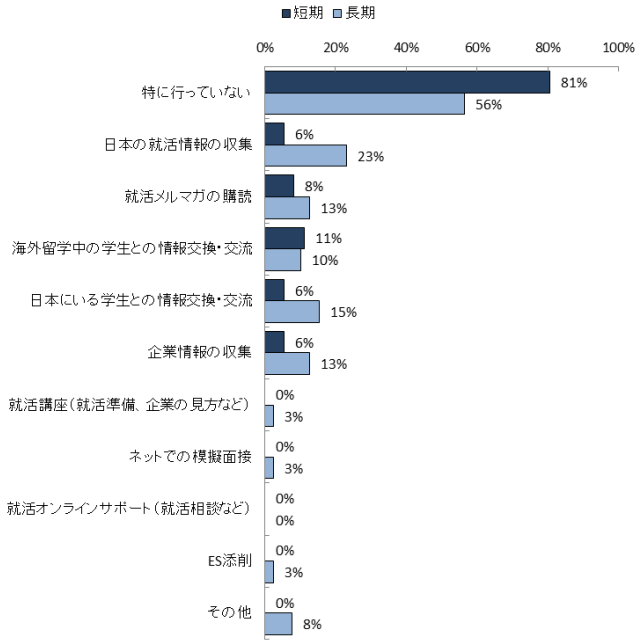
留学中の就活

●留学中の就活に関する不安 （全体／複数回答）



・短期留学の場合、留学中、就活に不安は「特にない」割合がもっとも高く8割を超える。
・長期留学では、「就活の仕方がわからない」「就活のスタートが遅れる」と就活準備への不安が4割弱でもっとも高い。また、「行きたい企業への会社説明会にいけない」「就活に関する情報がない」が続く。一方で、不安が「特にない」割合も約3割。

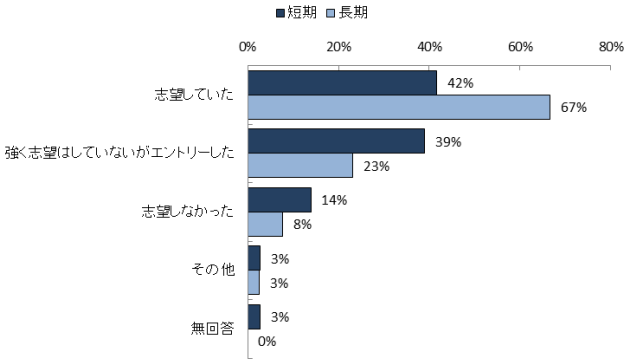
●留学中の就活（全体／複数回答）



・短期留学の場合、留学中に就活を「特に行っていない」割合が8割を超える。
・長期留学に関しても、半数以上の学生が留学中の就活は「特に行っていない」。就活への不安はあるものの（上記）、実際に留学中に就活を行う割合は少ない。
・行っていることとしては、「日本の就活情報の収集」がもっとも高く2割を超える。

グローバル企業への志望

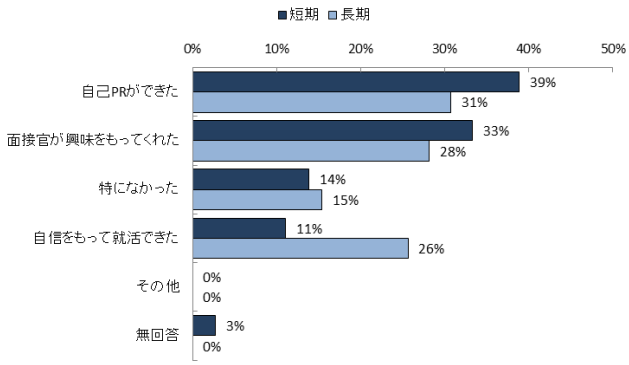
●グローバル企業への志望（全体／単一回答）



・「志望していた」割合が、長期留学は短期留学に比べ25ポイント高い。
・留学の期間が長いほうが、グローバル企業への志望度が高い傾向。

留学が就職活動で有利に感じた点

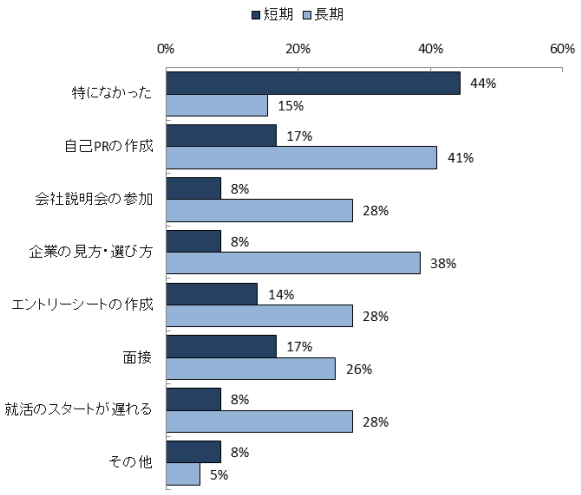
●留学が就職活動で有利に感じた点（全体／単一回答）



・短期留学、長期留学ともに、「自己PRができた」「面接官が興味をもってくれた」が高い。
・長期留学は、上記2つに加え、「自信をもって就活できた」も3割弱と高く、短期留学生と比べ2倍以上。

就職活動で大変だった点

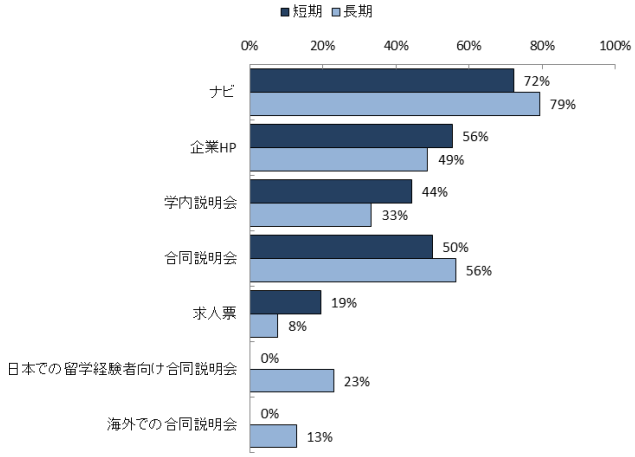
●就職活動で大変だった点（全体／複数回答）



・短期留学の場合、「特になかった」がもっとも高く4割を超える。
・長期留学は、全般的に就職活動が大変だった傾向がみられる。特に「自己PRの作成」「企業の見方・選び方」などエントリーまでの就活前半の活動の割合が高い傾向。
一方、「特になかった」学生も割合は少ないながらみられる。

就活で活用したツール・イベント

●就活で活用したツール・イベント（全体／複数回答）



・短期留学、長期留学ともに「ナビ」がもっとも高く7割以上の学生が利用。
・次いで、「企業HP」「合同説明会」が続くものの、短期留学の場合は「企業HP」が、長期留学の場合は「合同説明会」の割合が高い。
・長期留学の場合、「学内説明会」「求人票」など大学での就活支援への利用が低い傾向。
・一方、「日本での留学経験者向け合同説明会」「海外での合同説明会」など留学経験を活かした活動を行う学生もいるものの、割合は少ない。

留学経験で得たこと（自由回答）

「広い視野、新たな価値観、どんな環境でもやっていける自信」「考え方の変化」「環境適応能力、広い視野」「ハングリー精神」「海外視点で日本を見ること」「異文化理解」「度胸」「コミュニケーション力、行動力」「海外と日本を観る視点が変わったこと、海外の友人がたくさん出来たこと」「自分に自信を持ち、しっかりと伝えられること。この1年はけっして無駄にならず、ひとまわりもふたまわりも成長できたと思います」など、語学力だけでなく、グローバルな視点、文化理解、また、行動力、コミュニケーション力、精神力の向上など様々な点があげられている。

本件に関するお問合わせ先：
株式会社クオリティ・オブ・ライフ　担当：加藤
TEL:03-3526-6751　/　E-mail:info@qol-inc.com